別紙1　参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
東みよし町	三庄地区	令和3年6月30日	－

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	67ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	23ha
ⅰ　うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16ha
ⅱ　うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	－
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.7ha
（備考）	

2　対象地区の課題

■人
・農業従事者の平均年齢は73歳であり、5年後、10年後に農業従事者がいなくなる。
・新規就農者の受け入れ体制がない。
・中心経営体が少ない。
■農地
・耕作放棄地が増加している。
・土地所有者が都心部にいる。
・太陽光発電施設が増加し、虫の増加や周辺気温の上昇など問題が出てきている。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

耕作放棄地の圃場整備や、区画整理等により現在従事している農業者を補助する体制を整え、中心経営体を増加させ、集約する。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

①新規就農者の確保
・新規就農者が参入しやすいように、地域で受け入れの体制を整える。
・遊休農地のあっせんや、営農指導を行えるようにする。

②新たな特産化作物の栽培
・収益性が高い作物を新たに、地域の農業者で栽培する。
・遊休化している水田が多いため、有効活用する。